

飛翔



オーイング社報
第71号 令和2年10月21日
発行 者
株式会社オーイング 社報編集委員会
福井県大飯郡高浜町東三松 9-9-13
Tel.0770-72-5010(代)
編集責任者 江端 重政

コンプライアンス推進室便り

■第2回

コンプライアンス委員会

10月16日、小浜研修センターで「第2回コンプライアンス委員会」が開催されました。新型コロナウイルス対策として、2人の社外委員はリモート会議システムで参加。多仁委員長の進行で約2時間に渡り実質的審議が行われました。



委員会では接待交際費の監査やコンプライアンス施策推進状況、通報・相談事案の対応状況について事務局から報告があり審議の結果、適切であると了承されました。また、委員からは

「通報事案があった事は進歩。更に気軽にメール等できるようにになると良い。」(國久委員)、「ここで議論した事案対応を通報者保護の為に抽象的にした上で社内外にフィードバック・広報していく事が重要」(三宅委員)等の意見が出されました。次回は来年1月中旬に開催される予定です。

■役員研修会を実施

また役員を意識改革の一環として研修会が8月27日に小浜研修センターで実施されました。



講師は、コンプライアンス委員会の社外委員で社会保険労務士の國久弘敏氏が務

め、「ハラスメントの対応とその予防」をテーマに講演。コロナ禍にあつての研修会で、研修センターとリモート会議システムを駆使して一堂に会すことなく全役員が参加するという新しい試みがとられました。1時間30分におよぶ講演では「ハラスメントは、起きると何も良いことがない。未然に防ぐ体制づくりが重要。」と語りかけ参加者は熱心に耳を傾けていました。

研修会の後には参加した全役員が研修レポートを提出。今後も様々な機会を設けて周知徹底を積極的に行うとしています。



新田 全日本 優勝!

ボート競技の日本一を決める第98回全日本選手権大会に出場したオーイングボート部所属の新田明美選手が強敵を破り見事優勝しました。



優勝した関西電力チーム (右端：新田明美選手)

埼玉県戸田市にあるボート競技の聖地・戸田漕艇場で10月11日に行われた決勝戦。新田選手は関西電力チームの一員として、女子舵手なしクオドルプル(4人の漕ぎ手)に出場。スタートで飛び出す戦術が決まりトップに立つとぐんぐんと加速しそのまま2位との差6艇身のぶっちぎりでゴール。予選で敗れた優勝候補の強豪・明治安田生命チームを破つての優勝で、来年開催が期待される東京オリンピック出場にもつながる価値ある勝利を手に入れました。

まさらら朝市 OPEN!



新型コロナウイルス感染症予防のため、時短など難しい営業状況が続く「みかた温泉きららの湯」が『朝市』で新たな賑わいづくりを目指します。「まさら朝市」のプレイベント朝市は9月20日に開催され予想を超える手応え。そして準備を整えた第一回の朝市は10月18日に開催され、プレイベントの1.5倍の売り上げがあげました。地元の野菜が



品者からは「これだけ売れるとは思わなかった。」「今後はもっと品数を増やしたい。」「など、期待の声が多く聞かれました。また、商品を購入していただいた方にはきららの湯入浴補助券と若狭鍼灸院治療割引券が配られ、抜かりなく本体の営業活動も行いました。まさら朝市では毎月第3日曜日を基本に地元産の新鮮な野菜や魚を定期的に販売し、きららの湯の地域密着と賑わいづくりを進めていきたいとスタッフは意気込んでいます。

小浜市まちの駅に新たな賑わい



オーイングが指定管理者として、小浜市中心市街地の賑わい創出に一役買っている「小浜市まちの駅・旭座」に新たな名所が誕生しました。地元の偉人杉田玄白を顕彰する展示スペースや若狭塗箸などの特産品販売コーナー、そしてワッフルで人気の地元カフェが同時にオープンし、これまでのイメージを一新しました。8月1日(土)には水野社長や小浜市長らがテ

ープカットしさらなる賑わいの創出を祈念しました。新たに設けられた展示スペースでは、「解体新書」や回想録「蘭学事始」をはじめ自画像の紹介パネルなど杉田玄白に関する資料が所せましと展示されています。観光客と地元の人々との交流の場を目指すまちの駅。11月末からは恒例のイルミネーションや行灯の点灯も予定されていて小浜の夜を華やかに彩ります。

企業理念を具現化へ

オーイングの企業理念「地域社会への貢献」を具体的な形で実現しようと敦賀支店が取り組んできた活動が評価され、敦賀警察署と協議会から「安全安心認定企業」として認定され表彰されました。敦賀支店ではこれまで支店長を中心に支店員一丸となって様々な地域の活動に参加して来ましたが、最近では8月17日の新学期に合わせて子供を犯罪から守る取り組みの一環として、仕事をしながら登下校を見守る「ながら見守り運動」に参加しマスコミにも取り上げられました。企業として何か地域に貢献できないかと日ごろから考えていたという地道な努力が実を結んだ活動だと言えます。それぞれの支店がそれぞれの地域で「地域社会への貢献」を一步一步実現していくことが今後のオーイングをさらに強くする好例だと感じさせられます。

